

# 敬老の日 感謝祭

9月16日（火）から20日（土）まで、デイサービスわっくの家恒例の『敬老の日感謝祭』を開催しました。年に一度の長寿のお祝いにふさわしく、提灯や折り紙で作られたカラフルな飾りが会場を彩り、華やかな雰囲気の中で笑顔いっぱいの1週間となりました。

お昼には、お赤飯やチラシ寿司、茶碗蒸しに加え、ナポリタンや焼きそば、サンドイッチなどのバイキング形式のお祝い膳をご用意。まるでホテルの会食のような豪華な献立に「どれを食べても美味しい！」「お腹いっぱいこれ以上食べられない」という嬉しい声があがり、皆さま舌鼓を打たれていました。心のこもった料理の数々に自然と会話も弾み、ゆっくりと食事を楽しまれていたのでとても印象的でした。



午後からは余興の時間。初参加の『オーロラ』は、衣装替えしての舞踊・バイオリン演奏・歌謡ショーと多才なプログラムで大盛況。『高砂会』は変わらぬ迫力ある歌声と美しい日本舞踊で力を与えてくださり、『keiko フラ教室』の皆さんの優雅でリズムカルなフラダンスには「素晴らしい踊りで良かった」との感想も寄せられました。さらに金曜日にはご利用者の神八重子様か杜甫の『春望』を吟じ、会場全体がその力強い声に引き込まれました。

職員余興では「真っ赤な太陽」のダンスを披露。息の合った踊りに「職員の余興が楽しかった、また見たい！」と大きな笑いと拍手が沸き起こりました。そのほかにもミニゲームや童謡の合唱があり、最後まで笑顔の絶えない賑やかな催しとなりました。

利用者様からは「来年も元気でいて、また参加したい」という前向きな声も多く聞かれ、改めて皆さまの長寿をお祝いできた喜びを感じる行事となりました。

